

令和元年度第14回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和元年12月18日(水) 午後4時30分～午後5時30分
2. 会場 教育委員会 教育長室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 鴻野弘志
職務代理者 五十嵐紀子 朝日地区スポーツ統括監 長南広基
委員 馬場千晶 文化振興統括監 漢幸雄
委員 加藤洋之 合宿の里統括監 三上正洋
委員 山田敦久 学校教育課長 須藤友章
学校教育課管理監 大留義幸

4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

本年も残すところ2週間となった。例年に比べ雪が少ない状況にある。各地のスキー場がオープンできない中、日向スキー場には利用客が殺到し、2日間で約100万円の売り上げがあった。朝日スキー場もオープンできておらず、28日に予定している中体連のアルペンスキー大会の開催が危ぶまれている。過去には雪不足のため幌加内町で開催したこともある。

昨日は管内の教育長会議に出席してきた。鷹栖・中富良野の両町では新教育長が就任した。会議の資料として様々な文書が配布されたので、皆さんには別の機会にご覧いただきたい。

東高校の人事協議のため札幌市に出張した際、北海道教育委員会に立ち寄り、関係する職員に挨拶してきた。あらためて直接会って話をする中でいろいろな情報が得られると感じた。

本日の会議もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第33号 令和2年度士別市教育委員会政策予算(案)について説明を求める。

○鴻野部長

時間も限られているため、令和2年度の政策予算のうち、主なものについて説明する。なお、数字や金額については、現段階のものであり未確定。年明けに市長ヒアリングを行うが、何か気が付いた点があればそれまでにお知らせ願いたい。(別紙資料に基づき説明)

○中峰教育長

本年の様式からSDGsの区分が追加されている。教育委員会が所管する事業の多くは「4 質の高い教育をみんなに」に該当する。他にも「14 海の豊かさを守ろう」や「15 陸の豊かさを守ろう」など、一見すると関係ないように見えるものでも、説明を読み込むと関係するものがある。

○五十嵐職務代理者

上士別地区のスクールバスは、距離に関わらず中学生が乗車できるようにできないのか。

○中峰教育長

スクールバスについては、従来からの遠距離対応の場合は、文部科学省の基準を踏まえている。これに加え、10年ほど前からは、様々な危険から子どもたちを守る観点が増えられており、地区によって様々な危険があるため、児童生徒が安全に通学できる方法を検討している。例えば旧西小校区には名越

の踏切があることから、統合後は路線バスのルートを変更して児童が安全に通学できるようにしている。上士別の大和線は路線バスに児童生徒が乗車し通学しているが、デマンド方式になり一般の乗客が減少したという側面もある。来年4月からはスクールバスとして運行する予定。遠距離基準については、数年前に議会で質問があった。熊の出没など危険が増加しているため、自転車で通学している子どもについても、安全に通学する方法を検討する必要がある。

○須藤課長

4月からスクールバスに変更となった場合は、生徒の安全に配慮して通年でバスに乗車できるようにしたい。ただし、遠距離の基準である小学生2km、中学生3km以上の児童生徒を対象とする。

○五十嵐職務代理者

昔と違う点は子どもの数が少ないこと。「通学が大変だから引っ越そうか」という考えになってしまうと、更にへき地化が進むのでは。

○中峰教育長

そうしたことにまで及ぶとなると教育委員会の所掌領域を超える。課題となるICT関連の整備については、国の補正予算内容が明らかになっていないこともあり、詰め切れていない。光回線などのインフラ整備もどういう形で進めていくか。

※ 議案第33号 了承

○中峰教育長

議案第34号 令和元年度士別市教育委員会職員人事異動については秘密会とする。

午後5時03分、秘密会を宣する。

午後5時05分、秘密会を解く。

2 事務局からの情報提供

第4回定例会における一般質問について

○中峰教育長

事務局から説明を求める。

○鴻野部長

(会議資料に基づき説明)

○中峰教育長

サンライズホールの指定管理については、年度協定の段階で収支のさらなる見える化を図る。

○五十嵐職務代理者

教員住宅は閉鎖している所がある。

○中峰教育長

入居していない住宅は、新たな入居希望者のためにストックしているものと、入居が見込めないため市の普通財産として保有しているものがある。中には移住体験住宅として使用した例もあるが、ほとんどは更地にして土地を売却している。しかし、解体にも経費がかかるため、作業は進んでいない。

○加藤委員

質問にあった住宅はどここの地区なのか。

○中峰教育長

朝日地区である。

○加藤委員

教員住宅は退去してすぐに入居することが多いので修繕できない。

○馬場委員

職場が一緒なのだから住宅は別の所が良いという意見もあるようだ。

○加藤委員

中には教員住宅が良いという人もいるようだが、若い教職員は新しい賃貸住宅を希望する傾向にある。
継続して入居している住宅は優先して修繕すべき。

○五十嵐職務代理者

順次、改修していく考えはないのか。

○中峰教育長

改修したのに入居しないという可能性がある。民間の賃貸住宅が充実する中、どこまで経費をかけるのか考えなければならない。

3 その他について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後5時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章